

イボテングタケ (テングタケ科) 毒成分：イボテン酸、ムシモール

夏～秋に、針葉樹林や広葉樹林の地上に発生する。2003年に名前がつけられ、それまではテングタケと混同されていた。傘は灰褐色～オリーブ褐色、表面には白色のいぼが多数ある。



イボテングタケ：2003/10/11 京都市吉田山（下の写真も同じ）



イボテングタケの幼菌



ヒダは白色、柄の基部にはつぼの名残が何重かの環状となって残る